

# 川村小学校

【理事長】川村 正澄

【校長】川村 正澄

〒171-0031 東京都豊島区目白2-22-3 TEL 03-3984-8321(代)・7707(入試広報室) <https://www.kawamura.ac.jp/syougaku/>

【交通】JR山手線目白駅徒歩2分、東京メトロ副都心線雑司が谷駅徒歩7分

## こころの教育を重視して

### 川村学園の教育

創立以来、「感謝の心」を基盤として「女性の自覚」「社会への奉仕」を建学の精神とし、100年の歴史を通して今も脈々として継承されています。また、知育・徳育・体育の調和のとれた、品性に満ち国際感覚豊かな未来に輝いて生きる女性の育成を理想に掲げ、その実現に向かって邁進しています。

### 教育目標

伸びやかなやさしい心と、健やかな体を育て、自ら学び、自ら行動する力が生き生きと芽吹くような土台作りを教育目標にしています。

### 基礎学力の充実と英語学習、水泳授業、情報教育

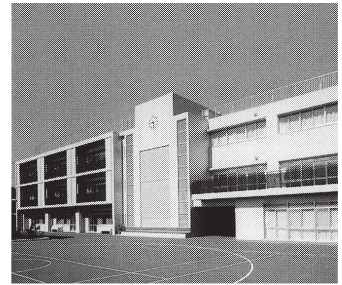
**英語学習**●1年生から始まる週2時間の英語授業では、音声面を重視したネイティブスピーカーとのチームティーチングを行い、もう1時間は少人数制で多くのやりとりを楽しみます。3年生になるとネイティブスピーカーによる授業を含め、英語授業は週3時間に増加します。小学校卒業までに英検3級取得が目標です。

**水泳授業**●温水プールを利用し、年間を通じた水泳教育にあたります。各学年の達成目標を定め、6年間で4泳法を身につけます。

**情報教育**●課題解決のために必要な論理的な思考を身につけていくよう指導しています。メディアルーム、情報処理室での授業に加え、4学年から一人1台のiPadを持ち、各教科にてICTを効果的に活用しています。

**蓼科学習**●6年間を通じ、自然観察やスキーを含む学年に応じた体験学習を長野県蓼科高原の本学園山荘を拠点に行っています。

**放課後活動**●放課後も、学内で安全安心を保ち、多彩なプログラムを用意しています。



### 沿革

1924(大正13)年、川村文子によって川村女学院創立。1927(昭和2)年幼稚園を、1932(昭和7)年に小学校開設。以来、教育内容や施設の充実に努め、現在では、幼稚園から大学・大学院までの一貫した教育体系を整えている。

### 2025年度募集要項

募集人員(女子):[自己推薦個別審査]約25人  
[一般個別審査]前期約40人、後期約15人  
出願書類提出:10月1日~10月28日(WEB出願後郵送・消印有効)後期のみ11月5日持参受験料:25,000円

選考日:[自己推薦個別審査]11月1日午前

[一般個別審査]前期11月1日午後、11月2日午前・午後

後期11月5日午前

選考内容:

[自己推薦個別審査]行動観察、運動機能、

親子面接

[一般個別審査]行動観察、運動機能、保護者面接

合格発表:[自己推薦個別審査]11月1日

[一般個別審査]前期11月1日、11月2日

後期11月5日

【かかる費用】

入学金:300,000円

授業料(年額):420,000円

その他(年額):441,600円

※給食費140,400円(年額)を含む

※鶴友会入会金(初年度のみ)3,000円を含む

### 併設中学進学状況

◆川村中学校(70%)

※成績等が基準に達した者は全員が進学可能

### データパック

◆児童数476人/教員数33人

◆24年度応募者数:女子自己推薦53人、第1回162人、第2回162人、第3回202人

◆合格者数:女子自己推薦47人、第1回38人、第2回32人、第3回23人

【併設校】

○川村学園女子大学付属保育園

○川村幼稚園

○川村中学校・高等学校

○川村学園女子大学・大学院

### 上級学校に進むには

小学校から中学校へは、原則として小学校の推薦により全員が進学できます。

### 豊かな人間性と個性の伸長をはかり、こころの教育を重視

学校長 川村 正澄

学園の創立者川村文子の教育理念を基盤とし、豊かな人間性と個性の伸長をはかることを教育の指針としております。

小学校は、学園の一貫教育体系の第一歩として、基礎基本の徹底とともに複雑化する現代社会の中で、もっとも重視しなければならない『こころ』の教育を行っています。子どもは子どもらしく、生き生きと元気に過ごし、輝きながら育つ中からいたわりや思いやりを育て、めぐり合う諸問題に対応できる正しい判断力と勇気を兼ね備えた人間を育てたいと思っております。